

経営ビジョン 中期経営計画

(平成 28～32 年度)



平成 28 年 5 月
 宮城県道路公社

宮城県道路公社路線位置図



目 次

策定の趣旨	3
I 経営ビジョン	4
経営理念	4
経営目標 1 お客様に満足していただける道路サービスの提供	5
経営目標 2 適切で計画的な維持管理	5
経営目標 3 健全な事業経営, 社会から信頼される組織づくりと人材育成	5
II 中期経営計画(平成 28～32 年度)	6
計画の位置づけ, 対象期間, 取り組みについて	6
❖ 計画の位置づけ	6
❖ 計画の期間	6
❖ 計画の取り組み	6
経営目標に基づく行動計画	7
❖ 経営目標 1 ～お客様に満足していただける道路サービスの提供	7
行動計画 1	7
行動計画 2	8
行動計画 3	9
行動計画 4	10
行動計画 5	13
❖ 経営目標 2 ～適切で計画的な維持管理	14
行動計画 6	14
行動計画 7	16
❖ 経営目標 3 ～健全な事業経営, 社会から信頼される組織づくりと人材育成	17
行動計画 8	17
行動計画 9	18
行動計画 10	18
行動計画 11	19

策定の趣旨

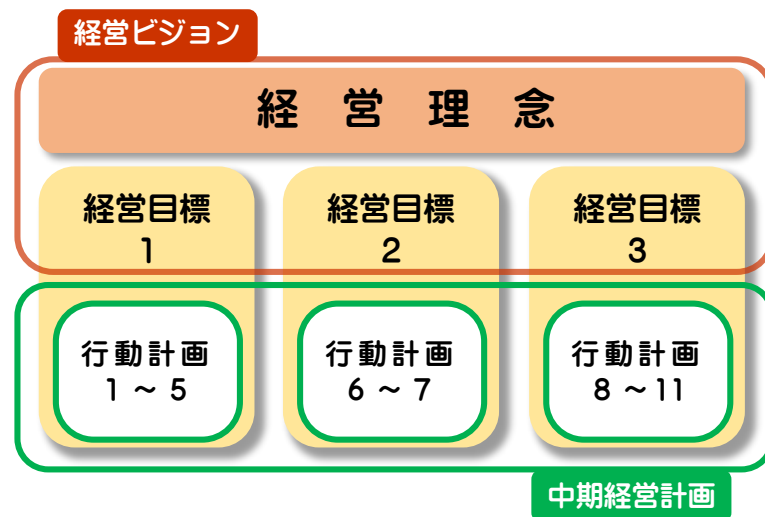
宮城県道路公社は、宮城県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的として、昭和 47 年 4 月に設立されました。

昭和 48 年に牧山トンネル、昭和 54 年に日和大橋、昭和 56 年に仙台南部道路をそれぞれ供用し、料金徴収期間の満了による無料開放や N E X C O 東日本への引継ぎを行っており、さらに、平成 13 年には、公社が立替施行で建設した「しおりふれあいトンネル」(現在は一般県道利府中インター線の一部)を供用しています。

また、昭和 57 年に供用を開始した仙台松島道路は、平成 27 年 3 月に復興道路として、いち早く全線 4 車線化工事を完成することができ、同年 7 月には宮城県から受託した「みやぎ県北高速幹線道路」の建設が始まるなど、公社事業は新たな局面を迎えることとなりました。

こうした節目を機に、公社の「経営理念」及び「経営目標」を改めて策定し、宮城県の定める「宮城県公社等外郭団体改革計画」も踏まえながら、今後 5 年間の「中期経営計画」を立て、事業を実施してまいります。

経営ビジョン・中期経営計画のイメージ



平成 28 年 5 月 27 日

宮 城 県 道 路 公 社

I 経営ビジョン

経営理念

仙台松島道路をいつでも「安全・安心」、「快適」、「便利」に利用できるようなサービスを、持続的かつ効率的に提供することで、住民の福祉の増進と産業経済の発展に貢献します。

宮城県道路公社(以下「公社」といいます。)が管理する仙台松島道路は、昭和 57 年 10 月の松島大郷 I C から松島北 I C 間の開通以来、宮城県内の高速道路ネットワークを担う路線として、高速性や定時性に優れ、安全性、快適性、利便性を有する最重要インフラストラクチャーです。

この道路は、仙台都市圏と観光地「松島」や沿岸部を結ぶことで、地域産業基盤の強化、円滑な経済活動の確保、観光産業の推進の観点から広域的な経済活動を支えるだけでなく、東日本大震災などの災害時における緊急輸送や救急搬送を提供する「命の道」として大きな役割が期待されています。

このような期待に応えるため、道路の適切な維持管理を行うとともに、お客様が「安全・安心」、「快適」、「便利」を実感されるような様々なサービスを持続的かつ効率的に提供することで、住民の福祉の増進と産業経済の発展に貢献していきます。



●1982(昭和 57)年 10 月 | 期区間開通



●2015(平成 27)年現在の鳴瀬奥松島 IC(左)と利府中 IC(右)

経営目標 1 お客様に満足していただける道路サービスの提供

お客様に「安全・安心」に利用していただくことを最優先に、「快適」で「便利」なサービスを提供します。

有料道路はお客様から料金をいただき、それを元に管理運営を行っていることから、お客様の満足度の向上を図るサービスを提供していく必要があります。

このため、お客様第一をモットーに、安全対策を更に推進するほか、交通情報などの提供や接客マナーの向上、分かりやすく便利な料金割引の実施、そして、休憩施設であるパーキングエリアの更なる充実を目指します。

経営目標 2 適切で計画的な維持管理

仙台松島道路を長期にわたって「安全・安心」「快適」「便利」にいつでもご利用いただけるよう適切な維持管理を行います。

仙台松島道路は県内の産業・経済そして生活にとって、必要不可欠なインフラストラクチャーであり、お客様に対し、持続的・継続的に御利用いただける輸送環境を提供することが公社の使命です。

このため、常に安全、安心に御利用いただくため適切な維持管理を行い、事故防止に努め、大規模災害時などにおいても業務を継続し、仙台松島道路の機能が発揮できるように取り組みます。

経営目標 3 健全な事業経営，社会から信頼される組織づくりと人材育成

健全な事業経営を行い，社会から信頼される組織づくりと人材育成に努めます。

有料道路は借入金で建設していることから、その借入金を将来の宮城県民の負担にならないよう確実に償還していかなければならないという大きな責任と使命があります。このため、健全な事業経営を行うとともに、社会から信頼される組織づくりと人材育成に努めます。

また、この人材と長年培ってきた技術力を活かし、必要とされる道路整備を通じて、引き続き、住民の福祉の増進と産業経済の発展に貢献していきます。

Ⅱ 中期経営計画(平成 28～32 年度)

計画の位置づけ，対象期間，取り組みについて

❖ 計画の位置づけ

経営理念のもと，設定した経営目標の具体化に向けて，目指すべき中期的なビジョン・目標を明らかにして経営に取り組んでいくための行動指針となるものです。

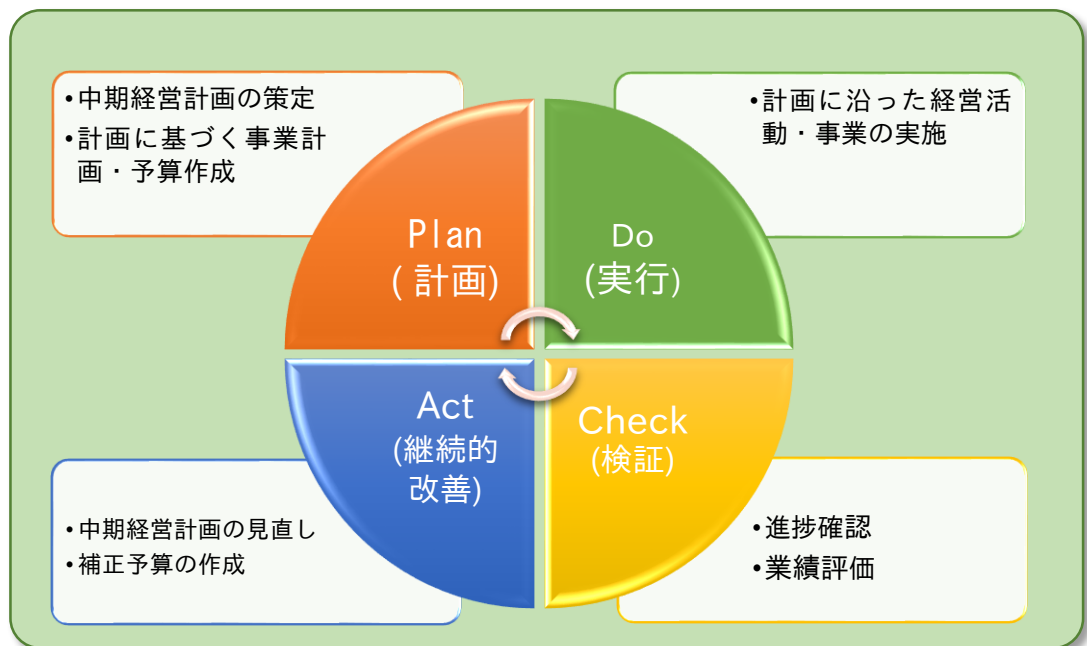
❖ 計画の期間

平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 か年とします。

❖ 計画の取り組み

計画達成に向け，P(計画)D(実施)C(検証)A(改善)サイクルを継続する取り組みを実施します。

●PDCAサイクルのイメージ



経営目標に基づく行動計画

❖ 経営目標 1～お客様に満足していただける道路サービスの提供

行動計画 1

お客様に安心して走行していただくことを最優先に一層の安全対策に努めます。

- ◆ 交通管制及び道路パトロールは、24 時間 365 日体制で交通状況、道路状況、気象状況を把握し、異常事態発生時には、現場へ急行して事故対応や故障車への支援を実施しています。
- ◆ 事故想定訓練や研究を常日頃から行い、事故処理の効率化を進め、更なる安全性の確保を目指します。

●交通管制室



●事故処理・車線規制



- ◆ 安全な走行のため、標識や注意看板、路面標示などの視認性を高めるとともに、逆走防止対策について、他の事例を調査しながら進めていきます。

●視線誘導板設置状況



- ◆ 冬期は除融雪作業を適切に行い，良好な路面管理に努めます。

●除融雪車両



●除融雪作業状況



行動計画 2

道路交通情報や道路案内等の充実に努め，お客様が目的地まで確実に到着できるよう快適な御利用をサポートします。

- ◆ お客様が目的地まで安心・快適に到着できるよう，道路案内板や道路情報板などによる分かりやすい情報提供を目指すとともに，更なるサービス向上を目指して，調査・研究を進めます。
- ◆ 過積載の防止や冬タイヤ早期装着などの安全運転啓発活動を行うとともに，ホームページ等で安全走行に関する情報発信を実施します。

●道路情報板表示状況



●冬タイヤ早期装着キャンペーン



行動計画 3

「お客様第一」をモットーとして、接客マナーの向上を目指し、「安全・安心」、「快適」、「便利」をかなえるサービスの提供に努めます。

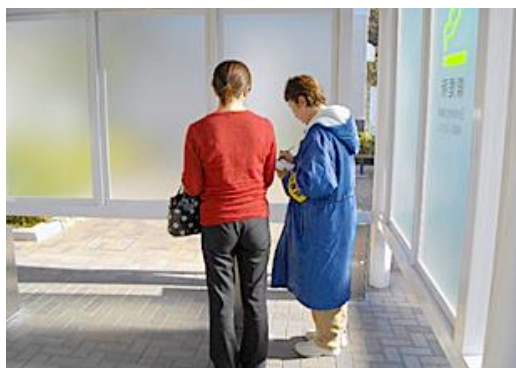
- ◆ 料金所の収受員は、お客様への感謝の気持ちを忘れずに、常に笑顔で、あかるい接客を実践するための教育・研修を行い、また、交通状況に応じて適切なレーン開放を行い、複雑な車種判別、各種料金割引、E T Cのトラブルなどに正確かつ迅速に対応するため、技能の向上に努めます。

●料金収受員業務状況



- ◆ お客様の満足度を更に向上させるため、アンケートなどを実施し、お客様の声を直接反映する仕組みをつくります。

●アンケート実施状況



行動計画 4

お客様に安心して快適に休憩いただけるよう、春日パーキングエリアの充実を図ります。

- ◆ 24時間営業のコンビニエンスストアやレストラン(営業時間 7時～21時)を中心に、お客様のニーズにこたえた施設をつくります。

●コンビニ内おみやげコーナー



●レストラン



- ◆ 三陸道沿線の地域とのつながりを深め、お土産品の販売や観光、そして地元で採れた食材を使用したのメニューの充実を図るなど、地域振興に努めます。

●利府町地場産品販売



●むすび丸像(祭りバージョン)展示



- ◆ 春日PA付近で発掘された文化財のレプリカ展示コーナーを設置し、また、夏休みには文化財体験イベントを開催し、郷土の歴史を紹介します。

●夏休み文化財体験イベント



●下り線文化財展示室



- ◆ 東日本大震災からの復旧・復興に関する情報を発信します。

●復興パネル展



●復興写真展



- ◆ パーキングエリアでの休憩の大部分がトイレ休憩であることを常に心がけ、より清潔で誰でもが快適に利用しやすいトイレ空間を提供します。

●一般トイレ

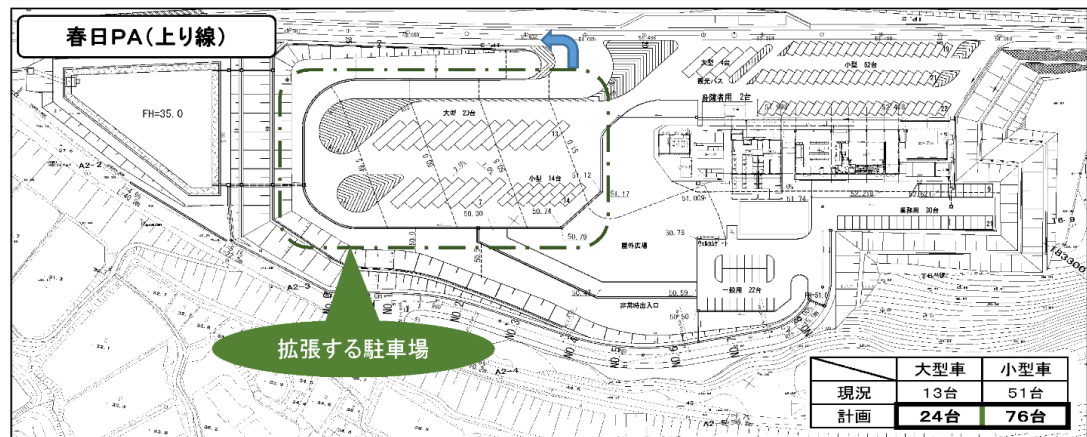


●多目的トイレ



- ◆ 春日PA上り線大型車専用駐車スペースを、平成30年度完成を目指し整備します。
- ・ ゆったりとした駐車スペースを確保します。
- ・ 車種別に駐車エリアを分離し、分かりやすい駐車場にします。

●春日パーキングエリア(上り線) 拡張工事概要図



春日PA(上り線)駐車場拡張事業工程表(予定)

項 目	細 別	〔工事費〕				摘要
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
設計調査	駐車場拡張	→				完了
用地補償		→				完了
文化財発掘調査	利府町教育委員会		→			
伐採業務			→			
建築設備設計			→			
改良工事				→		
舗装工事					→	
建築工事					→	
電気工事					→	

行動計画 5

お客様が、分かりやすく、利用しやすい料金サービスを実施します。

- ◆ お客様に分かりやすく利用しやすい割引サービスを提供するため、NEXCO東日本と同じETC時間帯割引を実施し、走行回数やポイントの合算、還元額の相互利用など、利便性を高めた割引を実施します。なお、平日朝夕割引、深夜割引、休日割引については期間限定で実施していますが、継続実施を検討します。

●宮城県道路公社料金割引サービスの特徴

割引の種類	対象車種	割引率	備考
平日朝夕割引	全車種 ETCマイレージサービス会員	5回～9回／月 約30%還元 10回以上／月 約50%還元	期間限定
平日朝夕割引 (コーポレート)	全車種 ETCコーポレートカード	5回～9回／月 約30%還元 10回以上／月 約50%還元	期間限定
深夜割引	全車種 ETCカード	約30%	期間限定
休日割引	軽自動車・普通車 ETCカード	約30%	期間限定
ETCマイレージサービス	全車種 ETCマイレージサービス会員	1000ポイント 500円分還元 3000ポイント 2,500円分還元 5000ポイント 5,000円分還元	
障害者割引	軽自動車・普通車 福祉事務所の事前手続	約50%	

宮城県道路公社はNEXCO3社と同じ平日朝夕割引を行っており、その割引対象となる利用回数は、NEXCO3社が対象としている回数と合算することができます。また、ETCマイレージサービスではNEXCO3社のポイントと合算して還元額（無料走行分）に交換することができます。これは、全国で宮城県道路公社だけが行っている料金サービスです。

- ◆ NEXCO東日本と共同で、観光振興のため、東北観光フリーパス(E T C周遊型割引、軽自動車・普通車限定)や訪日外国人向け Tohoku Expressway Pass を実施します。

●東北観光フリーパス



●Tohoku Expressway Pass(訪日外国人向け)



- ◆ ETCレーンの複数化を進め、事故や設備点検のときでもETCが利用できるようにします。

❖ 経営目標 2～適切で計画的な維持管理

行動計画 6

「仙台松島道路維持管理計画」に基づき、更なる安全性・快適性を確保するために適切な維持管理を行います。

- ◆ 道路構造物については、健全性を維持するため定期点検を計画的に実施するとともに、点検により発見した損傷を判定し、優先順位をつけて計画的に補修を行うなど、適切かつ効率的な維持管理を行います。

維持管理計画期間内に実施する主な工事

項 目	細 別	〔工事費〕					摘 要
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
橋梁維持修繕工事	黒ヶ沢橋（上り） 天神大橋（上り） 高城川新橋（上り・Aランプ） 桜渡戸大橋（上り）						
舗装補修工事	利府中料金所 鳴瀬本線料金所						
料金機械更新工事	鳴瀬本線料金所						
料金所ブース更新工事	利府中料金所 松島海岸料金所 松島北料金所						
ETC設備2Q化工事	利府中料金所 松島海岸料金所 松島北料金所 鳴瀬本線料金所						
調査設計業務							

● 橋梁点検作業

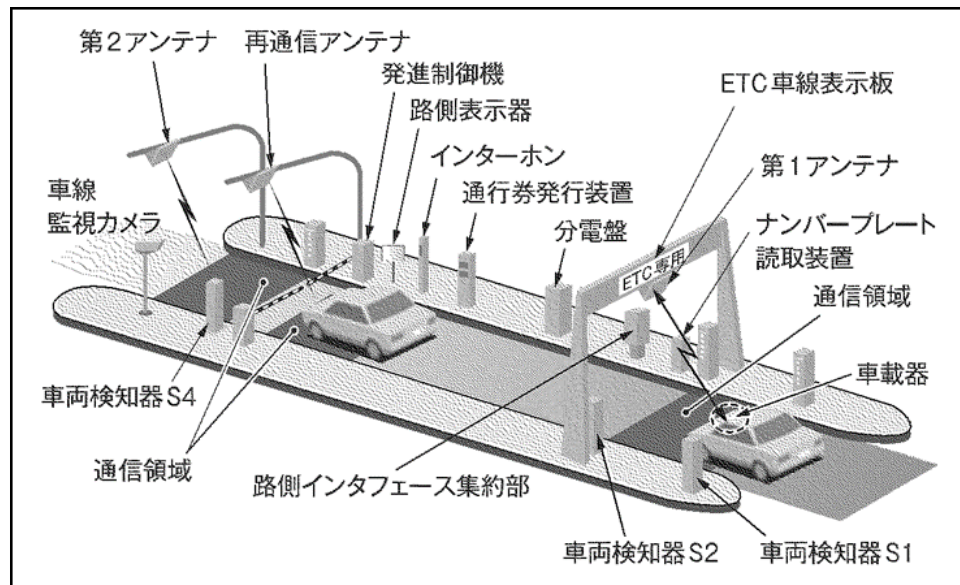


● 橋梁防護柵断面補修作業



- ◆ 道路設備については、点検・補修によりライフサイクルコストの低減を目指します。また、設備更新時には新技術を積極的に取り入れて機能向上に取り組みます。

●ETC 設備更新（2G 化）システム概要図



【ETC 2G システムと現在の ETC システムとの違い】

- 再通信アンテナ… 2G システムでは、入口・出口ともに再通信アンテナが追加され、ETC 再処理が可能となります。
- 車線サーバ… 2G システムでは、車線サーバが料金所内に集約されます。

- ◆ 雨天時の走行性や視認性の向上，走行騒音の低減を目的に高機能舗装を採用しており，この機能を維持するため適切な補修を行います。また，事故防止のために，標識や路面標示を見やすくするなど交通安全対策や渋滞対策に積極的取り組みます。

●舗装作業



●逆走禁止標示



行動計画 7

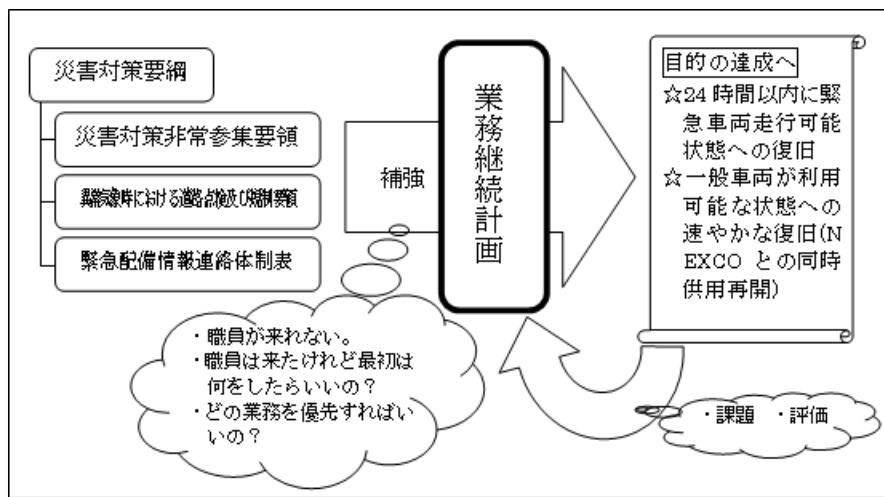
事故発生時において道路上の二次災害を防止するため、警察、消防と連携し、事故・故障車等の処理時間の短縮に努めます。

また、大規模災害時であっても、緊急交通路及び緊急輸送道路としての機能を速やかに発揮できるように策定した事業継続計画(BCP)に基づいた訓練や、必要に応じて計画の見直しを行っていくことで事業体制を強化します。

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分に発生した東日本大震災では、仙台松島道路も被災したものの、橋梁等の耐震対策が完了していたため、致命的被害は回避することができ、更に応急復旧を経て、3 月 13 日 12 時には緊急交通路としての機能を果たすことができました。また、3 月 22 日 10 時には一般供用を再開し、通常営業に戻ることができました。

この経験を活かすべく、実際に行った業務を「非常時優先業務」として振り返って整理し、必要な作業項目と改善すべき課題をまとめ、「緊急交通路及び緊急輸送道路として、災害発生から 24 時間以内に緊急車両の通行が可能な状態への復旧」と「一般車両が利用可能な状態への速やかな復旧」を目指した、宮城県道路公社業務継続計画(BCP)を作成しています。

●宮城県道路公社業務継続計画(BCP)のイメージ



また、災害発生のみならず、新型コロナウイルスやテロなど非常事態が発生した場合においても、業務継続ができるように、非常時の対応力強化に努めます。

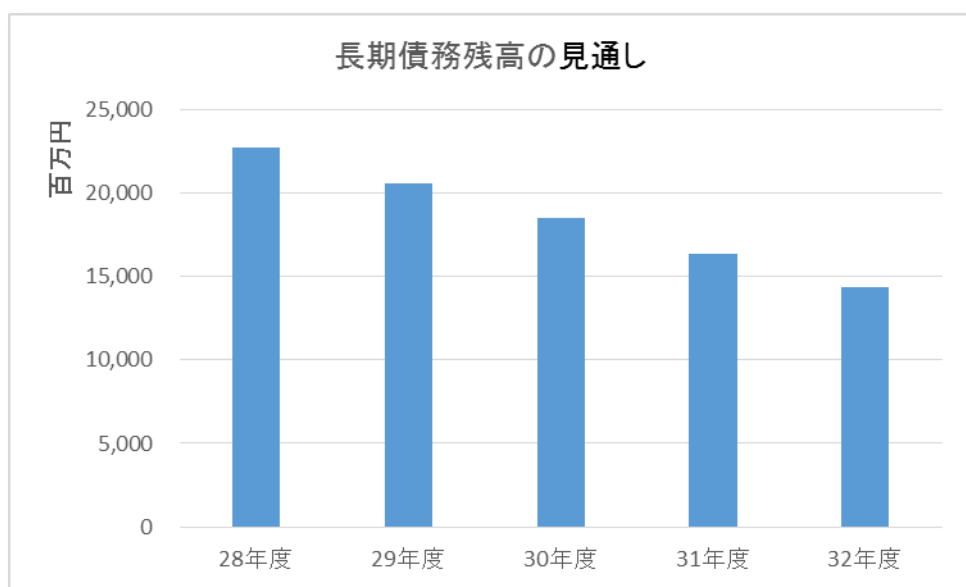
❖ 経営目標 3～健全な事業経営，社会から信頼される組織づくりと人材育成

行動計画 8

コスト意識をもって、環境に配慮しながら効率的な事業運営に努めます。

- ◆ 道路建設に要した借入金が，将来，県民の負担にならないように，利用収入の確保に努め，着実に債務の償還を進めます。

●長期債務残高の見通し(今後5年間)



- ◆ 一般競争入札による調達を原則とし，透明性，公平性，競争性を確保することでコスト節減をはかります。また，総合評価方式を適切に適用し，品質の確保を図ります。
- ◆ 料金收受業務や交通管理業務について，経費の節減及び事務の効率化を図るため，複数年契約を実施しており，今後も，検証を行いながら進めます。
- ◆ 事務用品，器材等の発注はグリーン購入を基本とし，環境に配慮した経営を行います。
- ◆ 各種業務マニュアル等を常に改善を目指し，P(計画)D(実施)C(検証)A(改善)サイクルによる見直しを行い，事務の効率化を進めます。

行動計画 9

一人一人が使命感を保ち、透明性のある公正さをもって、更なる信頼の向上に努めます。

- ◆ 会社の経営理念や経営目標を定期的に見直しを行いながら、役員及び職員にコンプライアンスの徹底を図ります。
- ◆ 公認会計士による監査を行うなど、業務の透明性に努めます。
- ◆ ホームページなどを活用し、お客様への情報発信に努めます。

行動計画 10

職員と組織とがその能力を最大限に発揮できる職場風土をつくり、職員のモチベーションを高め、能力と意欲のある職員を育成します。また、公社が培ってきた経験、知識、技術の継承に努めます。

- ◆ 職員については、将来の状況を見据え、効率的で無駄のない配置に努めるとともに、新たに雇用が必要となった際には再任用制度を活用するなど、計画的に実施します。
- ◆ 将来にわたって組織の活力を維持増進していくため、自らの能力を最大限に発揮できる、やりがいのある職場を目指し、職員のモチベーションを高め、新しい発想や幅広い視野を持った能力と意欲のある職員を育成します。
- ◆ 資格取得や他の先進的な事例を学びながら職員の知識やノウハウを更に高めていきます。また、これまで培ってきた経験・知識・ノウハウが散逸しないように知識や技術の継承に努め、業務マニュアルを中心に職場内研修やOJTの強化を図ります。

有料道路事業で培ってきた技術力を活かし、引き続き、住民の福祉の増進と産業経済の発展に貢献していきます。

- みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北自動車道と三陸縦貫自動車道を東西に結ぶ地域高規格道路であり、かつ、復興支援道路です。この道路のうち、Ⅱ期(中田工区) $L = 0.25 \text{ km}$ とⅢ期(佐沼工区) $L = 3.75 \text{ km}$ の建設を、東日本大震災後の復旧・復興事業が円滑に進むよう平成 27 年度に技術支援として宮城県から受託しました。

Map of the Miyagi Prefecture North Expressway Main Line project. The map shows the route from Aomori to Sendai, with various construction phases and stations marked. Key locations include Aomori, Sendai, and various interchanges and stations like Ito, Niinaka, and Sendai. The map also shows existing roads like National Route 4 and National Route 346, and water bodies like the Tone River. A scale bar indicates a total length of approximately 24 km, with specific segments marked for construction phases I, II, and III.

項 目	細 別	〔工事費〕						摘要
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
道路改良工事	Ⅱ期(中田工区)工事							
	Ⅲ期(佐沼工区)工事							
橋梁工事	1号橋(追川橋梁)工事							
	2号橋(梅ノ木高架橋)工事							
	3号橋(長沼川橋梁)工事							
	4号橋工事							
舗装・標識工事	舗装・標識工事							

- ◆ 復旧・復興，そして更なる県土の発展に貢献するため，新たな事業展開を検討していきます。

公社は，トンネル(牧山トンネル，しおりふれあいトンネル)，長大橋(日和大橋)，高架橋(仙台南部道路)，4車線化工事及び休憩施設建設(仙台松島道路)など，様々な形態の道路を建設し，ノウハウの蓄積と技術力を高めてきました。

引き続き，宮城県と協議・連携を図りながら，必要とされる道路整備を通じて，住民の福祉の増進と産業経済の発展に貢献していきます。